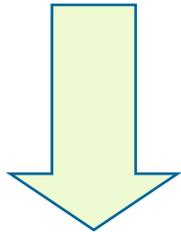


# 事前準備の段階で明らかになった 講習会の課題について②

- 受講生の確保

受講希望の事前調査	30名
県内最終応募人員	25名

予想していたより、希望者が少ない  
県内で開催するのだから多く出して欲しい  
開催を希望していたのになぜ？



## 養成所側の課題

受講生が希望しても、養成所の  
体制にゆとりがなく一度には出  
せない

## 県の課題

よりよい教育のため、未受講  
者の解消は一刻も早く解決し  
たい

# 取り組むべき方向性

## 養成所側の取り組み

先を見越した教員養成計画を立てる

学生のためによりよい教育環境を目指す

## 県の取り組み

県内の教員の状況を把握・分析し  
効果的な講習会の開催を検討する

# 実施してみたの評価

- 主催者

手探りの状態で準備をしたので、本当にこれでよかったのかとの不安が残った

- 受講生

受講目的は達成できたとの評価

それぞれ高い志を持って講習会に臨んだためではないかと考えられる

- 講師

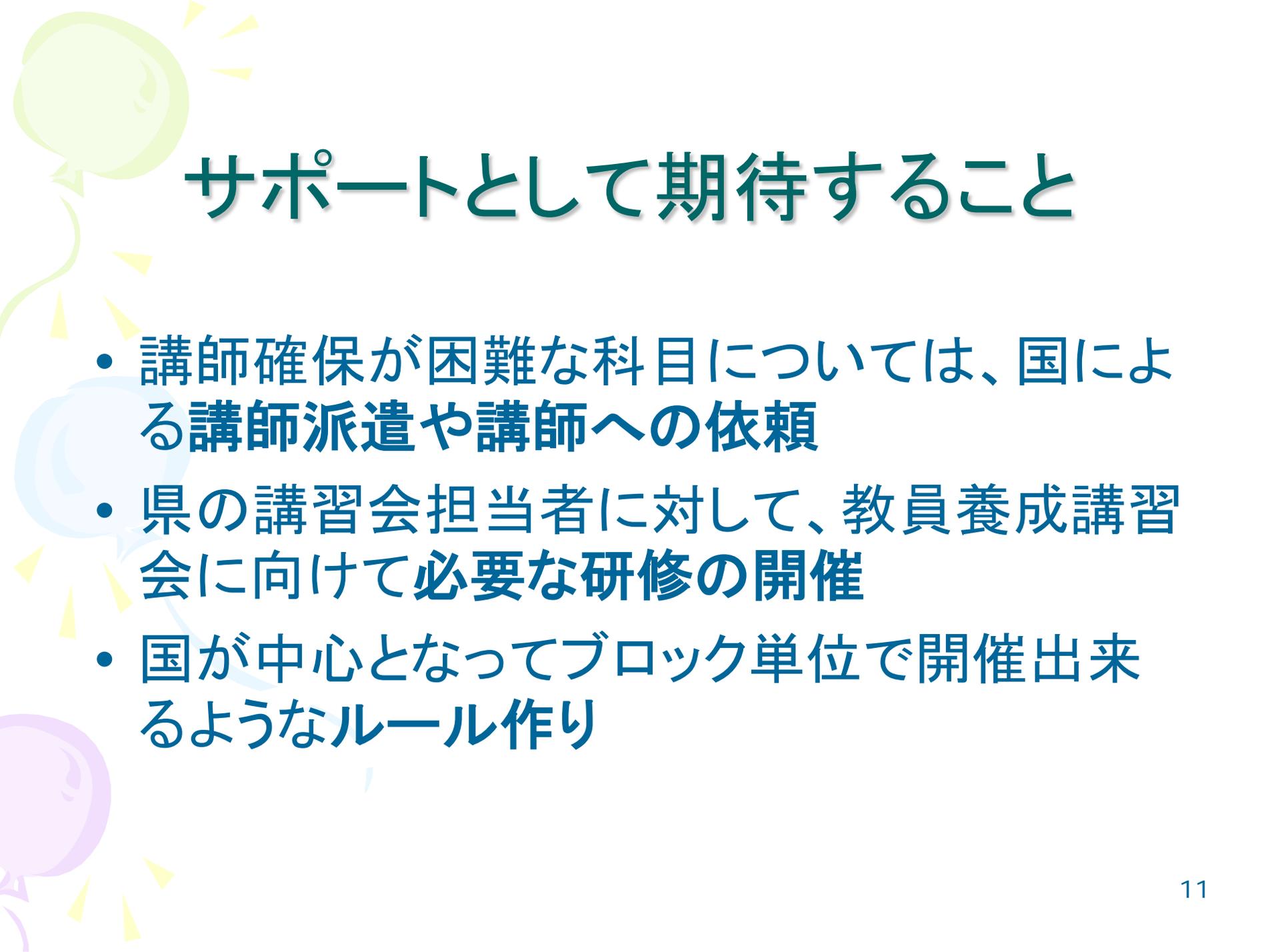
カリキュラム内容が適切であった

受講生の意欲が高く、講義しやすかった

しかし、2年連続開催の講師は大変

# 全体を通して

- 教育経験のない担当者による開催は、事前の準備に多くの時間が必要になる。
- 看護研修研究センターへ相談できることに気づいたのは、開始直前であったことも時間を要した一因と考える。
- 今回、カリキュラム作成に1年、その後の講師及び教育実習場所の確保にも多くの時間を要した。
- 準備をしっかりと行わないと、講習会直前まで講師及び教育実習施設も確保できない



# サポートとして期待すること

- 講師確保が困難な科目については、国による**講師派遣や講師への依頼**
- 県の講習会担当者に対して、**教員養成講習会に向けて必要な研修の開催**
- 国が中心となって**ブロック単位で開催出来るようなルール作り**